

科目区分	専門基礎分野			科目番号	0411	曜日時間	
授業科目	機能障害と生体反応						
単位数	1 単位	時間	16 時間	開講時期	2年次後期	授業形態	講義
担当教員	魏 峻洸						
授業目的	臨床検査の意義、目的を理解し、検査データの解釈ができる。						
授業目標	1. 機能障害があらわす生体反応としての検査結果が理解できる。 2. 検査結果の見方、アセスメントの方法が理解できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	8	臨床検査とその役割 一般検査 尿・便検査 血液学的検査 血球検査 出血・凝固検査 化学検査 血清蛋白質検査 血清酵素検査 糖代謝・脂質代謝検査 腎機能検査 水分・電解質検査 血液ガス分析 免疫・血清学的検査 炎症マーカー検査	講義	16	魏 峻洸		
終了後課題							
評価計画方法	筆記試験・授業態度						
テキスト参考図書	参考 山田俊幸ほか：異常値の出るメカニズム第7版，医学書院 奈良信雄ほか：系統看護学講座 別巻 臨床検査【電子版】，医学書院						
実務歴有	医師						
講義への反映	臨床医としての経験を活かし、生体反応としての検査の意味・見解について教授する。						
備考							